

With

SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyaの略です）



《不定期連載》
正文舎の制作事例
Review of CREATION

《今回のお客さま》
北海道大学 医学部
消化器外科1
様

正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「Z」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**
ZOOM ————— 変化するコミュニケーション

New&Goods ————— 整理整頓

TOPICS ————— オリジナル・ファン特設サイト

Focus on JAPANESE —「施行」を何と読みますか



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Photo_Adobe Stock

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

ZOOM

Text_Kishi Masahiro

変化するコミュニケーション

zú:m [動詞] プーンと音を立てる（走る） カメラが画像を拡大縮小する

コロナ禍が続く中、私たちの生活様式や仕事のスタイルが大きく変化しました。今までの価値観、常識が当たり前のものではなく、その変化のスピードに戸惑いを感じる人が多いと思います。慣れ親しんだことを大きく変えるというのはストレスですし、そもそも「変わる」ということに対し、日常から拒否反応を示される方は少なくないと思います。「わざわざ変わらなくても今のままで十分、なんの不便もない」。

そうです。今までは、そうです。そうでした。

しかし、今回のこのコロナ騒動はそれを許してくれません。許すどころか、ものすごい勢いで、尚且つ長期的に変わることが求められています。



Illustration_Adobe Stock

弊社でも感染対策として、出来るだけ人同士の接触機会を減らすために10人以上の会議・会合への参加や出張を控えたり、時差出勤やテレワークなどの取り組みを続けています。

これらの取り組みは初めてのことであり、社員はみな戸惑ったと思います。部署によってはテレワークを実施できず、出社しないテレワークスタッフとどうコミュニケーションをとればいいのか？ お客様にご迷惑をお掛けせず、工程管理がスムーズに行くのか？ 上司へのホウレンソウはどうするのか？ 等々、今現在も試行錯誤の連続です。しかし、変わらざるを得ないのです。変わることを拒否したり、抗っている猶予はありません。なにせ、価値観が変わるのですから。

ZOOM（ズーム）という単語は、カメラやビデオ画像を拡大・縮小するという意味で一般的に使っていましたが、今はZoomビデオコミュニケーションズ社のクラウドサービス『Zoom』が有名になりました。この『Zoom』を利用してWeb会議を行ったり、大学における講義やウェビナーの受講など、目的地や遠隔地に移動しなくても「リモート」で開催でき、学習することも出来るので、幅広い用途で使われています。

しかし、今まではどうだったでしょう？ 各種会議はコミュニケーションの観点から会議室に集まっての開催、学習はEラーニングこそあれ、やはり授業や試験は教室でというのが一般的な常識でした。

これらがコロナ禍で『Zoom』などのリモートツールに移行されると、やれ「コミュニケーションが図りづらい」だの、「PCやタブレットなどの環境が整っていない」「ITに関するリテラシーが無い…」等の不平不満が目につくようになりました。

しかし…変わるしか無いのです。自分自身も会社も、誰のせいにしても仕方の無いこの難局を乗り切るためには。

もっと先のことだと思っていた「デジタルトランスフォーメーション（DX）^{*}」が、加速度的に早く到来しただけであり、当たり前のように慣れ親しんだ生活様式や仕事のスタイルは、いずれ変えなければならないことが、今、訪れている。時差出勤やテレワークは、働き方改革に繋がるでしょう。そして新たなコミュニケーション方法を模索し続ければ、きっとベストアンサーが見つかるはずです。

今のこの情勢は、世の中や物事を俯瞰して、自分が見えている景色を「拡大・縮小」することを時代が求めているのだと思います。

※デジタルトランスフォーメーション（DX）：
「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念であり、2004年にスウェーデンのウメオ大学、エリック・ストルターマン教授が提唱したとされる。（ウィキペディアより）

23

正文舎 New&Goods

Text & Photo_ Shirafuji Saori

整理整頓

「社内の整理整頓」は、社長から提示される目標の中に必ず入っている項目でした。だから、「片づけなければならない」とスタッフは心のどこかでそう思っていたと思います。ですが、数年たっても、やはり「整理整頓」が目標に入っているのです。なぜ、こうなってしまうのでしょうか。

2020年の目標を決めるとき、総務課長がこんなことを言いました。

「整理整頓された状態ってなんでしょう。それがわかっていないから、片づけられないと思います。」

正文舎が「整理整頓された状態」を共有できていないから、もしかしたら整理整頓していると思っているスタッフもいるのかもしれない。でも、社長の目からはできていないと見えるのです。

では、どうしたらいいのでしょうか。

私はふと以前買った「トヨタの片づけ」という本を思い出しました。「トヨタ式を勉強したら、何かわかるかもしれないな。」そう思った私は、総務課長に「トヨタの片づけ」を読んで研究してもらうことにしました。彼女はまず、総務部のスタッフ全員で読書会をすることに決めました。

毎日、朝礼の時間に少しずつ読み進め、読了後に総務部で何ができるのか話し合いをしたのです。そ



うすると、「何をどう片付けてよいのかわからない」という状況から、「書庫から始めるのはどうか」という意見がでました。そして、日程を決めて実際に片づけ始めたのです。決めたスケジュール通りに進まないことがあります、少なくとも全員がやろうという気持ちになっています。整理整頓は、重要だけれど緊急ではない業務です。電話対応、接客、経理事務など日々の対応に気を取られていると、どんどん後回しになってしまいます。そうして、年末を迎えた頃、次の年の目標がまた「整理整頓」になってしまうという悪循環だったのです。そして、少しだけ心の中でできていない罪悪感につながっていました。

けれども、今年は「整理整頓された状態を知らなければ片づけられない」という一人の気づきから、行動することができました。そうすると、心の中のつかえも取れてきて、できていない罪悪感から解放されていくようです。総務部から始まっている「整理整頓」は、きっと他部署にも広まっていくでしょう。

目標は掲げるだけではなく、達成するにはどうしたらいいのか考えて、行動することが大事という基本的なことを再度学んだ出来事でした。



Illustration_Adobe Stock

手
に
入
れ
よ
う
！

オ
リ
ジ
ナ
ル
グ
ズ
を

世
界
に
一
つ
だ
け
の

ス マホやパソコンから、好きな画像やデザインを送るだけで簡単にオリジナルグッズを作ることができるWebサービス、【オリジナルファン】特設サイトを近日公開予定です！

お子さんやお孫さん、家族との記念写真、可愛いペット、思い出の場所、趣味で書いたイラストなどをTシャツやタンブラーにプリントすると、ほかの人とカブることのない、世界に一つだけのオリジナルグッズが出来上がります。

自由に会えない今だからこそ、思い出を形にして、大切な方に贈ったり、毎日の普段使いに「気分のあがる」グッズとして楽しんでみてはいかがでしょうか。

購入は簡単！ 作りたいグッズを選んで、好きな画像をアップロードするだけ！



トートバッグ

《正文舎オリジナルデザイン》



ファッション、ビジネス問わず、どこにでも持ち運べる人気のトートバッグ。長年つかえるアイテムのため、愛用したくなるデザインだと嬉しいですね。

また、7月から始まった、レジ袋有料化でマイバッグの需要が高まっています。特にコンビニは、仕事帰りやおでかけのついでに立ち寄ることが多いので、お気に入りのトートバッグをカバンに1枚入れておくと便利ですね。

タンブラー

《正文舎オリジナルデザイン》



台紙を自由に入れ替えて、好みのスタイルにカスタマイズして使用することができます。紙を入れ替えるだけなので、家や会社、学校、アウトドア、また、季節やイベントごと、ありとあらゆるシーンにあわせて使いわけすることもできます！

こだわりのタンブラーを探している方には、自分だけのマイデザインタンブラーで、毎日の気分を変えてみてはいかがでしょうか。

オリジナルグッズを創ることができるWeb サービス【オリジナルファン】特設サイト！

Text & Photo_Tokunaga Moe

第1弾として、「トートバッグ」「タンブラー」を公開予定

トートバッグ、タンブラーどちらも、プレゼントだけではなく、企業ノベルティや、趣味サークルの記念品などでも喜ばれるおすすめ商品です。

制作パターンは2種類！

オリジナル商品

スマホやパソコンから、画像を1枚アップロードするだけ！

プリントしたい画像（jpg、TIFF、ai）をお送り頂き、お好きな場所にプリント致します。お客様ご自身でデザインされたものについても承ります。

既製品

デザイン集の中からあなたにぴったりのデザインをみつける！

弊社でデザインしたものを各種取り揃えております。

入稿方法

画像データ（jpg、TIFF、ai）を担当者宛にメールで送信またはアップロードしていただきます。ご質問・ご要望があれば、その時にお伺いいたします。メールフォームまたはお電話にて承ります。

校正・納期

- ①PDF校正で仕上りのイメージをメールでお送りいたします。
- ②OK（校了）のお返事を、メールで担当者宛にお送りいただきます。
- ③OK（校了）のお返事後、メールで価格をお知らせします。
- ④入金を確認いたしましたら、印刷し、発送いたします。



*Image(Photo_Adobe Stock)

サイトの公開については、正文舎公式サイトや各種SNSでお知らせしていきますので、ぜひご確認ください。

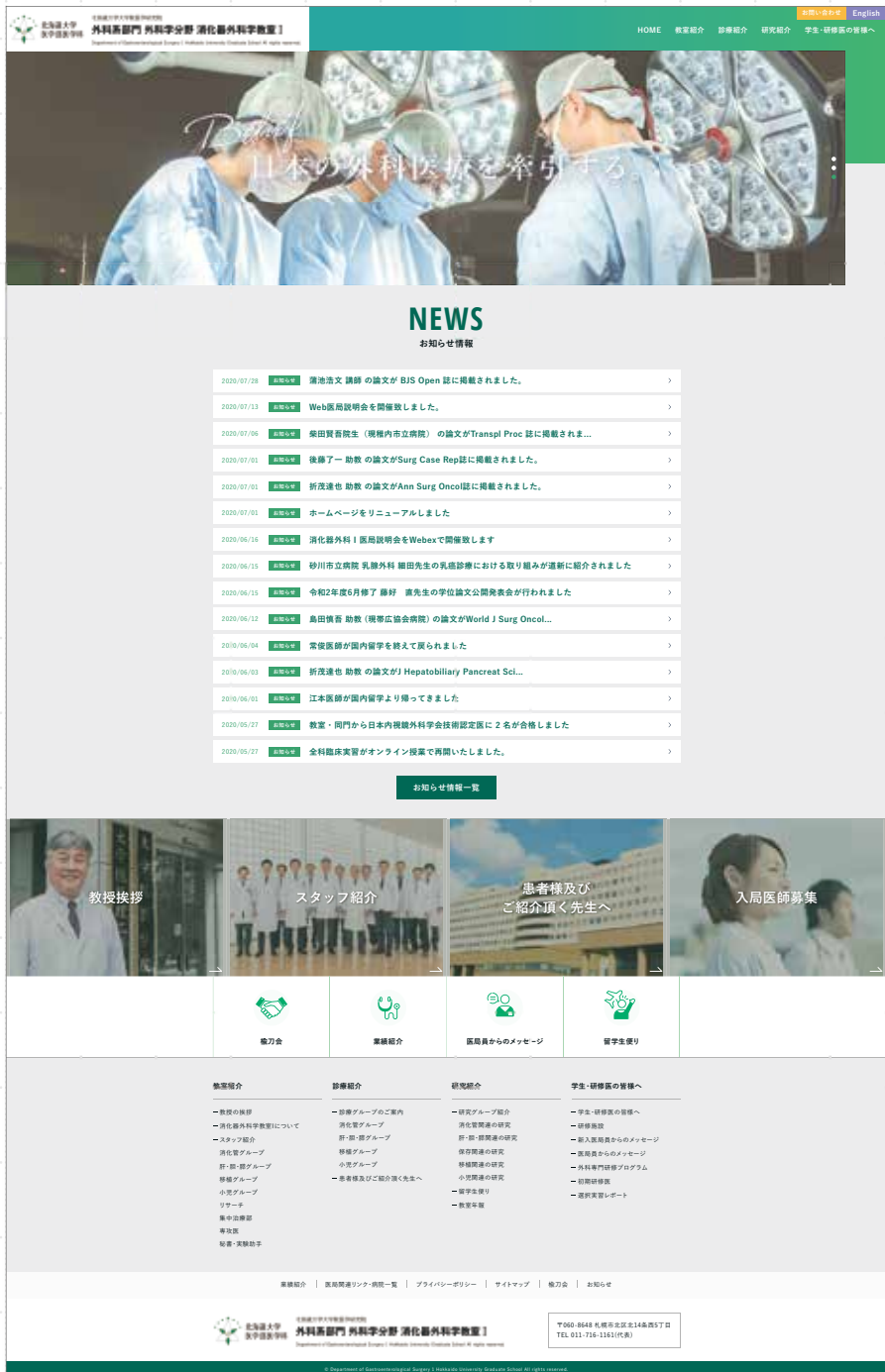


不定期連載
第7回

Review of CREATION
正文舎の制作事例

《今回のお客さま》
北海道大学大学院医学研究院
外科系部門 外科学分野 消化器外科学教室I 様（以下敬称略）

北海道大学大学院医学研究院 外科系部門 外科学分野 消化器外科学教室IのWebサイトのリニューアルを行いました。 <https://surg1.med.hokudai.ac.jp/>



北海道大学内の「Webホスティングサービス」を使って構築しています。

正文舎の制作事例

Review of CREATION

ABOUT

教室紹介

HOME > 教室紹介

教授挨拶

消化器外科学教室Iについて

スタッフ紹介

教授挨拶

国内有数の外科教室として外科臨床の発展に貢献

一人一人の患者様に真摯に向き合う姿勢を忘れない

次世代を託せる外科医を育成

私たちの研究・診療について

診療紹介

研究紹介

教授紹介

教授挨拶

最善・最適な外科治療を
チーム医療で実践します。

武富 紹信

国内有数の外科教室として外科臨床の発展に貢献

一人一人の患者様に真摯に向き合う姿勢を忘れない

次世代を託せる外科医を育成

私たちの研究・診療について

診療紹介

研究紹介

教授紹介

教授挨拶

最善・最適な外科治療を
チーム医療で実践します。

武富 紹信

国内有数の外科教室として外科臨床の発展に貢献

一人一人の患者様に真摯に向き合う姿勢を忘れない

次世代を託せる外科医を育成

私たちの研究・診療について

診療紹介

研究紹介

教授紹介

《制作のポイント》

制作（デザイン～CMS構築）・写真撮影を担当させていただきました。

「日本の外科医療を牽引する」消化器外科学教室Iの魅力伝えることを念頭に置いて制作いたしました。

また、2020年よりリリースされた「Webホスティングサービス」で運用可能にしています。

8 Review of CREATION

Review of CREATION 9

◀ 「施行」を何と読みますか

にほんごの知識
Text_Kurita Miyuki

20

少し前、香港の国家安全維持法施行のニュースが連日メディアで取り上げられていましたが、ある日、朝の情報番組でこのニュースを見ていたら、「施行」を現地の記者が「せこう」、スタジオのアナウンサーが「しこう」と異なる読み方をしていました。一般的には建築関係の「施工」が「せこう」で、「施行」は「しこう」だと思うのですが…。以前このコラムで「三権分立」を「さんけんぶんりゅう」と読むことがあるという話をしましたが、「施行」も「執行（しっこう）」と区別するために法律用語で「せこう」と読むことがあるそうです。記者の方がこのような背景で「せこう」と言ったのかどうか分かりませんが、法律用語には要注意ですね。

そもそも「施」という字は「し」と発音するのか「せ」と発音するのか、迷う場面が多い気がします。例えば「施策」。「施策」は「しさく」ですが、「せさく」かな、と一瞬思ってしまった。「施術」は何と読みますか。「せじゅつ」が一般的ではないでしょうか。けれども元々は「しじゅつ」という読みが正しかったといいます。それが「手術（しゅじゅつ）」と似ていて紛らわしいので「せじゅつ」という読み方が生まれ、やがてはそれが主流になり、辞書に載るまでになってしまった。慣用読み^{※1}が本来の読みと立場が逆転した感じです。

立場逆転といえば、「白夜」をなんと読みますか。圧倒的に「びやくや」と読む方が多いのではないのでしょうか。「白夜行（びやくやこう）」という小説もありましたね。しかし元々は「はくや」だったといま



Photo_Adobe Stock

す。何故「びやくや」が普及したのかはわかりませんが、森繁久彌さん作詞作曲の「知床旅情」の歌詞で「びやくや」と読ませたのが大きく影響したのではないかという説があります^{※2}。この曲は加藤登紀子さんのカバーが有名ですが、私は父がよくカラオケで歌っていたので馴染み深いです。郷愁を誘う曲ですよね。

せこう（施行）、しじゅつ（施術）、はくや（白夜）、全部正しい読みです。こういう例があると改めて、他人の間違いを指摘するときは慎重にならなければ、と思わざるを得ませんね。

※1 慣用による読み方。正式な読み方以外によく用いられる読み方。
(三省堂 スーパー大辞林3.0)

※2 NHK放送文化研究所「白夜」の読み方は？
<https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/gimon/057.html>

校正の現場から。

1か月という時の「が月」。英語ならmonth (months) ですが、日本語だとヶ月、ヵ月、ケ月、カ月、箇月などいくつもの表記があって迷いますよね。

どれも正しいのですが、一応公文や公文書では、算用数字のときは「が月」、漢数字の時は「箇月」を使うことになっています。「1が月」、「一箇月」といった具合ですね。

INFORMATION

正文舎 会社案内『with SBS』

第1弾完了のお知らせ

2018年7月から26回発刊してきた、『with SBS』ですが、メイン企画である「正文舎のアレやコレ『株式会社正文舎』AtoZ」の連載終了とともに今号をもちまして、第1弾のリリースを完了することとなりました。長い間のご支援・ご愛読をありがとうございました。

スタート当初、「正文舎の今を伝える会社案内にしたい」「何かお客さまのヒントになる情報を発信できないか」という思いのもと、集まった制作メンバーが他の多くのスタッフを巻き込みながら作り上げてまいりました。

特に「お客さま紹介」や「事例紹介」では、お客さまにも原稿作成のご協力をいただき、最後まで走り抜けることができました。

この場を借りて改めて心よりお礼申し上げます。

この会社案内をスタートした2018年当時、最終号の2020年の全世界が新型コロナウイルスによって脅かされているとは夢にも思いませんでした。

第2弾の企画も立てておりますが、取材などもままならない現状ですので、再開は2021年以降になりそうです。また皆さまと、印刷媒体を通じてお会いできることを楽しみにしております。

なお、正文舎のSNS(Twitter、Facebook、Instagram) は引き続き発信しておりますので、こちらもぜひフォローをよろしくお願いいたします。

末筆ながら、皆さまの益々のご隆盛をお祈り致しますとともに、倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

編集長 蝦名未希子

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリент赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【商業印刷物】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【出版印刷】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【業務用印刷】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>
各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定の
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの
資格を持った制作者が多く在籍しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会による
CSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014
情報セキュリティマネジメントシステム
の認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときに
どこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌 本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京 OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリент赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C9200において、在庫紙を使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer ■ Kishi Masahiro
Topics Writer & Editor ■ Tokunaga Moe
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Review of CREATION Writer ■ Ebina Mikiko
Editor ■ Honma Kazumi
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA